

寝屋川北部地下河川の事業について

平成28年7月28日(木)

大阪府 都市整備部

1. 寝屋川北部地下河川事業の概要①

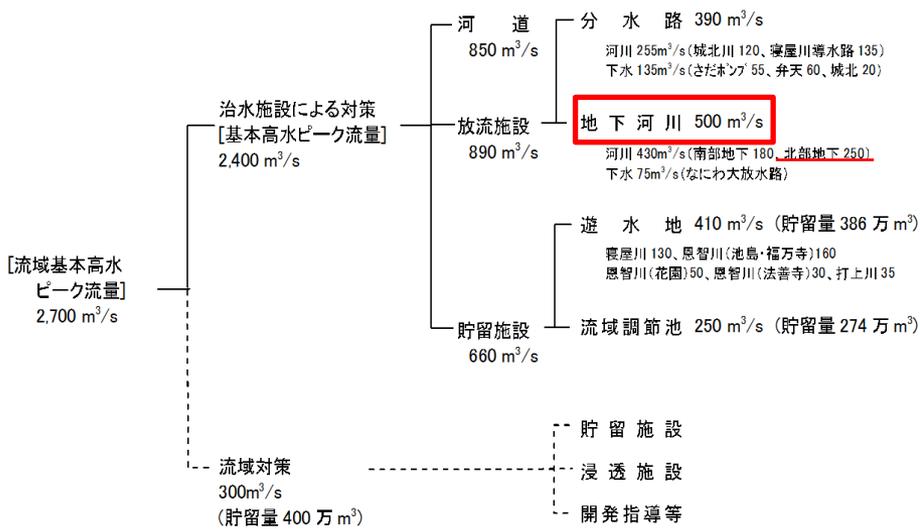
寝屋川流域はその地形的特徴から水はけが悪いため、「総合治水対策」により、河川・下水道が一体となって治水対策を進めています。

寝屋川北部地下河川は、上流端を寝屋川市讃良東町、下流端を大阪市都島区中野町とする、総延長約14kmの地下放水路です。河川および流域下水道増補幹線から取水し、下流端でポンプにより一級河川旧淀川（大川）に250m³/sを排水する計画です。

寝屋川水系流域図

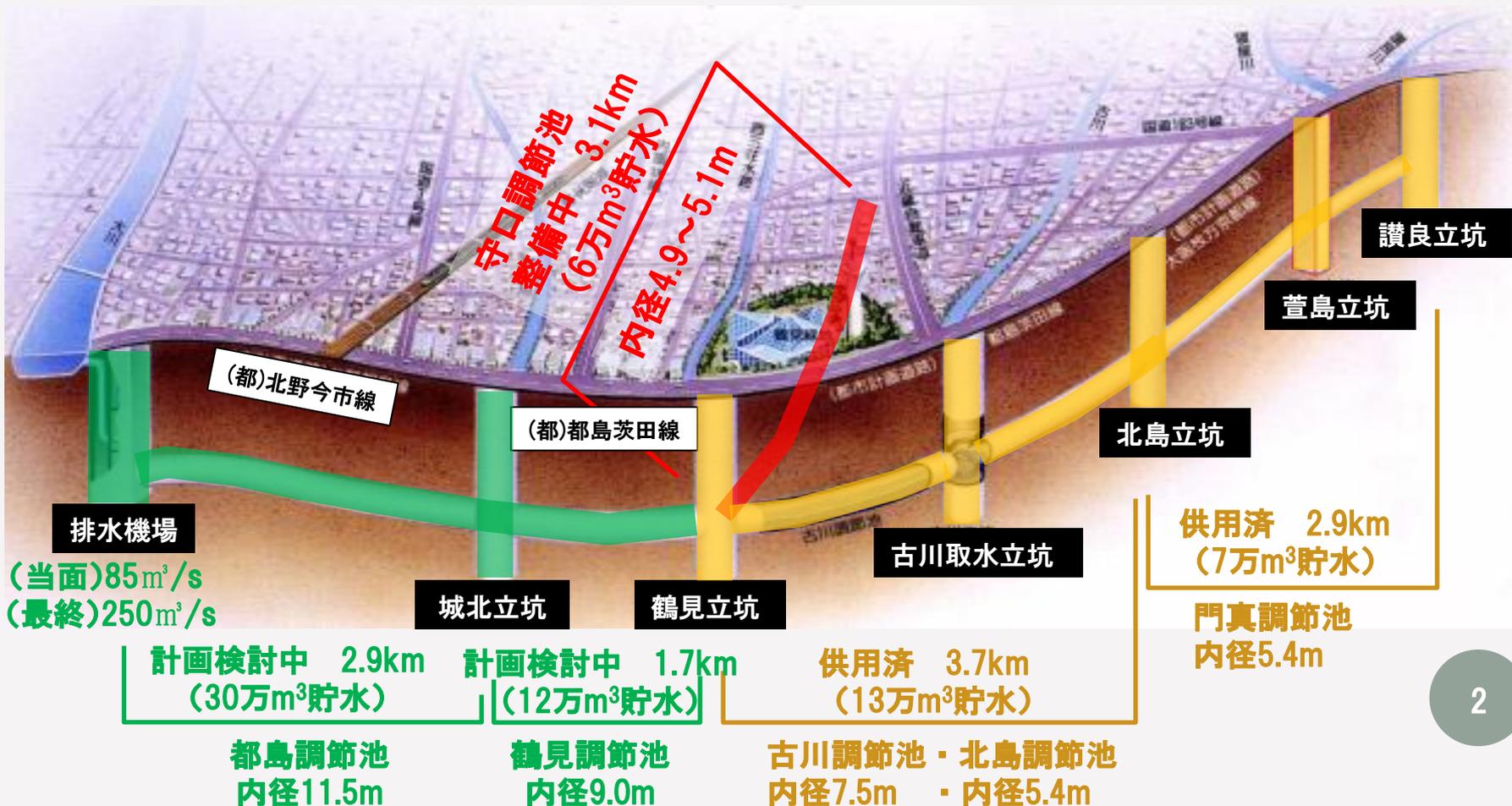


寝屋川北部地下河川



1. 寝屋川北部地下河川事業の概要②

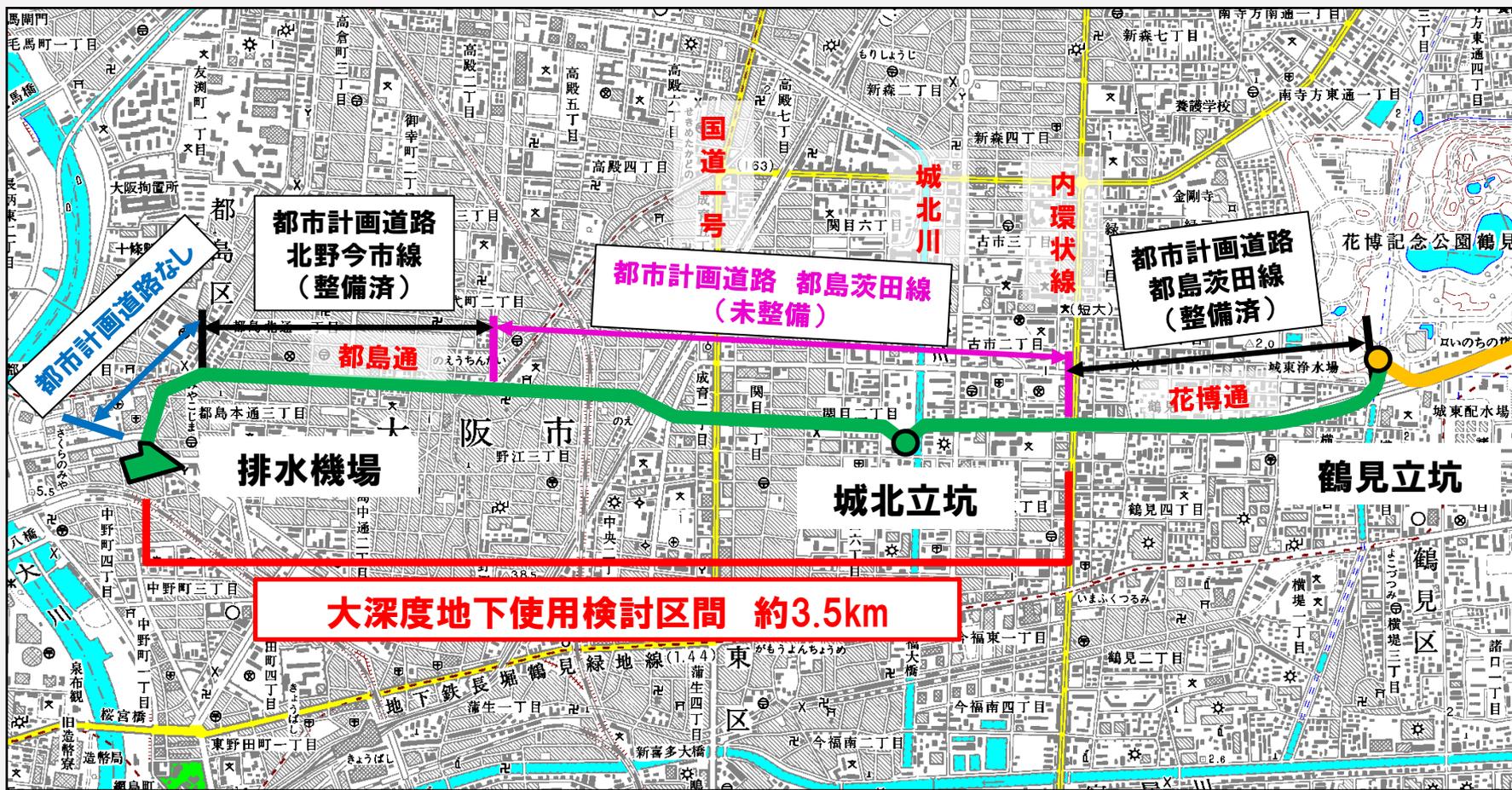
寝屋川北部地下河川は、一定区間の完成ごとに雨水貯留施設として暫定供用を行っており、現在、鶴見立坑～讚良立坑間が完成済みで、20万m³の貯留能力を確保しています。守口市域からの枝線（守口調節池）も施工中であり、H32年度の完成を目指しています。鶴見立坑～排水機場の区間が事業未着手の状態です。



2. 大深度地下使用検討に至った経緯

今後施工予定の鶴見立坑以西の一部区間で都市計画道路の事業化の見通しが立っておらず、地下河川が埋設できないため、大阪府河川構造物等審議会に「大深度地下使用検討部会」を設置し、大深度地下使用による事業実施について、学識経験者の意見を聴いて検討を進めています。

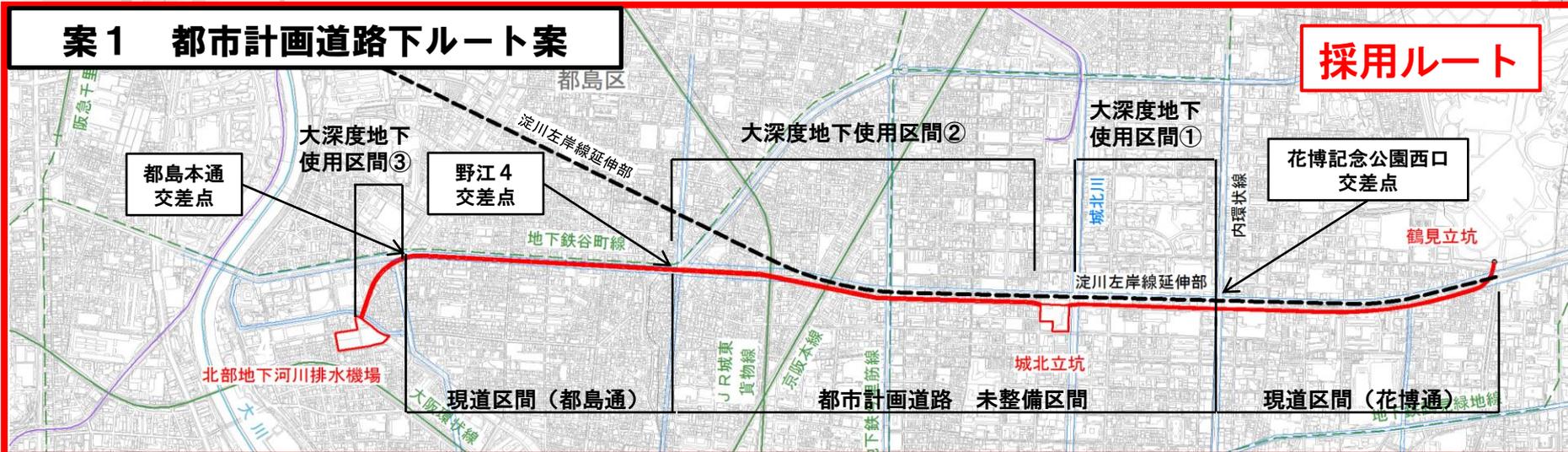
大深度地下使用法…大深度地下の公共的使用に関する特別措置法



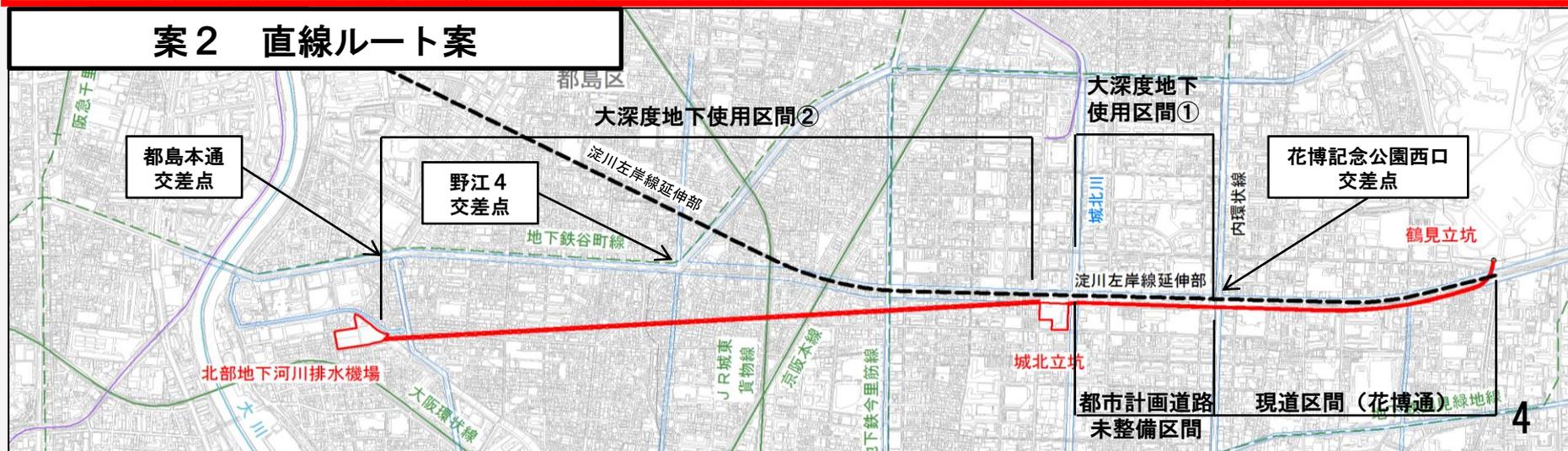
3. 平面ルート決定

平面ルートについては、都市計画道路下に埋設するルート（案1）と、一部区間を最短距離で接続するルート（案2）を比較しました。事業効率や住民への影響等を総合的に評価した結果、大深度地下使用の都市計画道路下ルート案が最適となりました。

案1 都市計画道路下ルート案

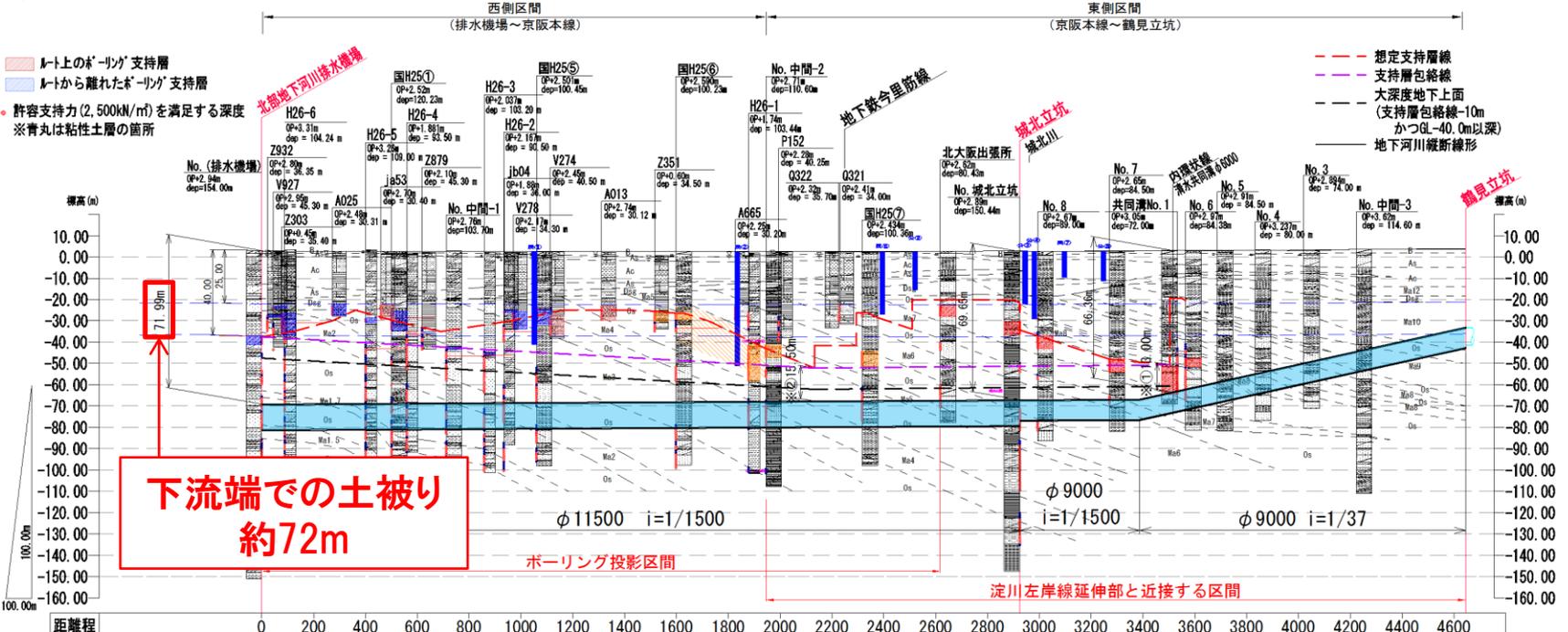
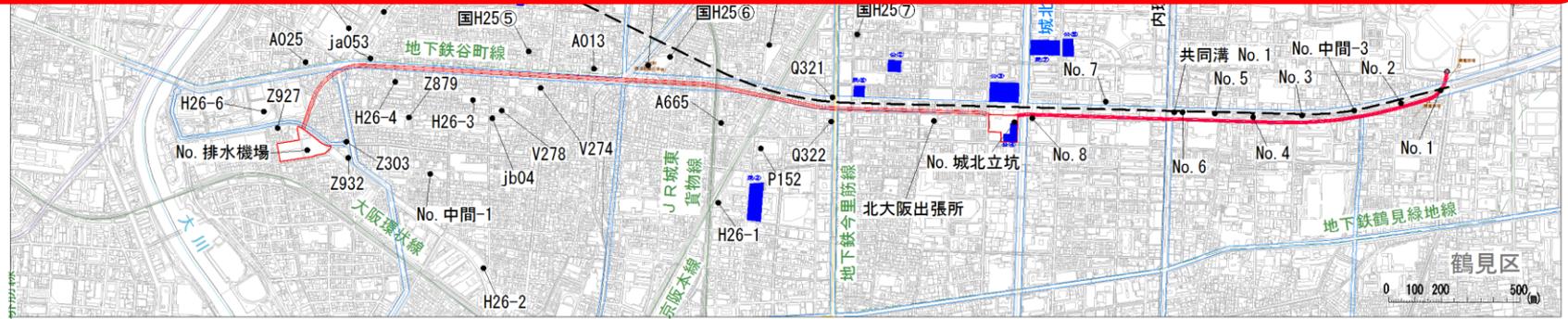


案2 直線ルート案



4. 大深度地下深さと地下河川縦断線形の決定

大深度地下深さは、既存建築物の基礎杭の根入れやボーリング調査結果を踏まえて、将来にわたって基礎杭等が貫入する恐れのない深度を特定し、これよりも深部に地下河川の縦断線形を計画しました。



※①: 基礎杭の根入れ2m+内径9.0m+セグメント厚0.5m×2+維持管理等のための離隔1m=13.0m
 ※②: 基礎杭の根入れ2m+内径11.5m+セグメント厚0.5m×2+維持管理等のための離隔1m=15.5m

5. 都市計画変更手続

寝屋川北部地下河川事業は平成2年度に都市計画決定を行っていますが、現在、大深度地下使用に合わせた立体都市計画に変更する為の手続を進めています。（平成27年12月に住民説明会開催済、平成28年度中に告示予定）

立体都市計画のイメージ

地表面

建築物

通常、都市計画施設の区域には一定の建築制限がかかりますが、立体都市計画区域では区域に定められた離隔と荷重条件を満たせば、都市計画法に基づく建築許可が不要となります。

建築物の建設による、増加荷重の限度を定めます。

地下河川からの最低限の離隔を定めます。

地下河川

立体的な都市計画を定める範囲

都市計画変更スケジュール

平成27年度

都市計画変更
地元説明会

公聴会
(公述申出なし)

平成28年度

都市計画案の縦覧・
意見書の募集

大阪府都市計画
審議会

都市計画変更告示

6. 今後のスケジュール

| 時 期 | 内 容 |
|------------|---|
| 平成28年8月予定 | ・ 平成28年度 大阪府河川構造物等審議会 第1回 大深度地下使用検討部会 (水理模型実験結果・環境影響評価結果 等) |
| 平成28年10月予定 | ・ 第6回近畿圏大深度地下使用協議会幹事会 (事業概要書の周知) |
| 平成28年秋予定 | ・ 平成28年度 大阪府河川構造物等審議会 第2回 大深度地下使用検討部会 (構造検討結果 等) |
| 平成29年3月予定 | ・ 都市計画変更告示 |
| 平成29年度予定 | ・ 大深度地下使用認可申請 |